

STEP株主通信 2005年12月

No.10

Step by Step

株主のみなさまへ

第27期
事業報告書

平成16年10月1日

平成17年9月30日

“子どもを元気にする塾”

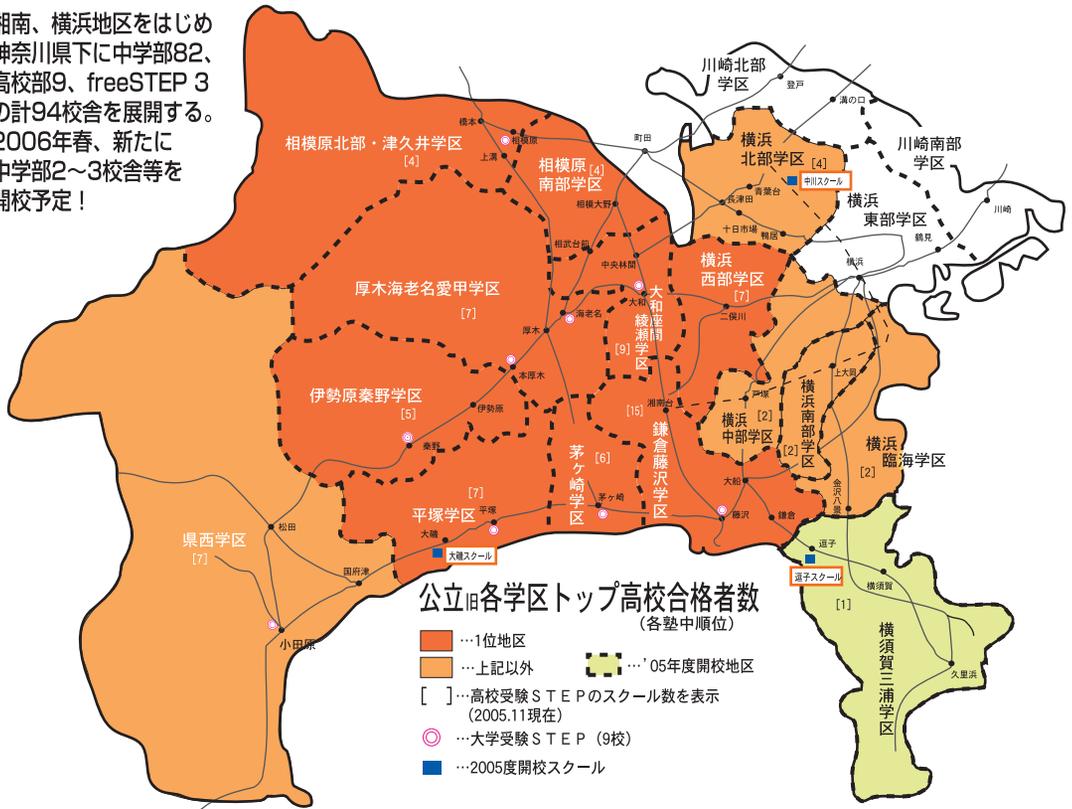


CONTENTS／目次

STEPスクール地図	1
今年のTOPICS	2
What's STEP	5
STEP by STEP	6
業績の推移	7
損益計算書の要旨	8
貸借対照表の要旨	10
株式の状況	11
第28期業績予想	12
会社の概要・株主メモ	13

STEPスクール地図

湘南、横浜地区をはじめ
神奈川県下に中学部82、
高校部9、freeSTEP 3
の計94校舎を展開する。
2006年春、新たに
中学部2~3校舎等を
開校予定!



公立旧各学区トップ高校合格者数 (各塾中順位)

- …1位地区
- …上記以外
- …'05年度開校地区
- [] …高校受験STEPのスクール数を表示
(2005.11現在)
- …大学受験STEP (9校)
- …2005度開校スクール

鎌倉・藤沢学区

長後スクール
六合スクール
善行スクール
藤沢スクール
藤沢朝日スクール
藤沢中央スクール
ライフタウンスクール
辻堂東スクール
大船スクール
湘南深沢スクール
湘南台スクール
用田スクール
横須賀・三浦学区
逗子スクール

茅ヶ崎学区

辻堂西スクール
茅ヶ崎北スクール
茅ヶ崎東スクール
寒川スクール
平塚西スクール
平塚中央スクール
平塚東スクール
平塚南スクール
二宮スクール
大磯

横浜各学区

瀬谷スクール
境川スクール
三俣川スクール
鶴ヶ峰スクール
弥生台スクール
立場スクール
戸塚南スクール
戸塚中央スクール
金沢文庫スクール
十日市場スクール
鴨居スクール
中川

厚木学区・大和学区

中央林間スクール
鶴間スクール
厚木西スクール
厚木東スクール
愛川スクール
海老名西スクール
さがみ野スクール
高座渋谷スクール
綾瀬スクール
大和座間スクール
相武台スクール

相模原南部学区

相模原北部学区
相模原東学区
相模大野スクール
橋本スクール
相模原南スクール
上溝スクール
東林間スクール

秦野伊勢原学区

伊勢原スクール
秦野スクール
渋沢スクール
東海大前スクール
鶴宮スクール
小田原スクール
富水スクール
松田スクール
鶴宮北スクール
南足柄スクール

Hi-STEP

Hi-STEP 湘南スクール
Hi-STEP 鎌倉スクール
Hi-STEP 大和スクール
Hi-STEP 二俣川スクール
Hi-STEP 茅ヶ崎スクール
Hi-STEP 海老名スクール
Hi-STEP 横浜南スクール
Hi-STEP 青葉台スクール
Hi-STEP 小田原スクール
Hi-STEP 秦野スクール
Hi-STEP 中央林間スクール
Hi-STEP 相模原スクール

大学受験STEP

大学受験STEP 藤沢校
大学受験STEP 大和校
大学受験STEP 茅ヶ崎校
大学受験STEP 海老名校
大学受験STEP 平塚校
大学受験STEP 小田原校
大学受験STEP 秦野校

大学受験STEP 相模原校
大学受験STEP 厚木校

freeSTEP

freeSTEP 藤沢
freeSTEP 平塚
freeSTEP 長後

今年のTOPICS

- ★**中学部** 逗子、中川、大磯に開校
- ★**高校部** 相模原・厚木校が本格開校
- ★**個別指導校 freeSTEP 2校を開校**

中学部 中川、逗子などに3校開校

2005年春、中学部は逗子、大磯、中川（横浜市）に新たにスクールを開校しました。逗子スクールは、旧横須賀三浦学区に展開する初のスクールです。また、中川スクールは旧横浜北部学区としては3校目ですが、横浜の都筑区には初の開校です。

さらに生徒数の増加に対応して、平塚スクール、寒川スクールを移転しました。また戸塚スクールの移転も行います。

神奈川県公立高校入試は、2005年度には県立高校の学区が撤廃されて全県1学区になり、さらに横浜翠嵐高校など3校で自校作成問題による独自入試がスタートするなど、神奈川県高校入試はその様相を一変しているといっても過言ではありません。

独自入試の導入により入試実力勝負の色彩が強くなった県立最高レベルの横浜翠嵐高校には、昨年の13名合格から、今春は合格者60名へと躍進しました。2006年度入試では、さらに2校が独自入試を実施することになり、神奈川県の入試はより入試得点力の勝負となっていくと考えられます。



移転開校した寒川スクール ラウンジ

大学受験ステップ相模原校、厚木校 本格開校

2005年春、大学受験部門は、厚木校、相模原校を本格開校しました。2004年度より開校準備室を設け、高1生、高2生の講座を中心とした基礎作りを行ってきましたが、2005年度より高3生の講座を開講したものです。

相模原校は県北部の横浜線相模原駅に近く、また厚木校は小田急線本厚木駅近くに立地しています。相模原校、厚木校の開校により、神奈川県内の旧各学区に校舎を展開し、トップ高校在学学生をはじめとする現役高校生に対応した予備校ネットワークを構築していく、という計画の実現にさらに一歩前進しました。

個別指導freeSTEP 2校を開校

2002年秋に藤沢校開校でスタートした個別指導専門校freeSTEPを、2005年春には平塚と長後に新たに2校開校し、中学生・現役高校生の新たなニーズに応えています。



freeSTEP平塚と高校受験平塚スクール

今年のTOPICS

— 中学部 高校受験合格実績

県内公立トップ校1,150名合格 各塾中 No.1 横浜翠嵐高校に60名合格、昨年13名から躍進

今春の高校入試では、ステップが校舎展開をしている公立高校旧15学区のうち、9学区と旧全県学区2校の計11校のトップ高校において塾別合格実績をNo.1とするとともに、ステップからの県内公立高校合格者のうち41%がトップ校に合格するなど、昨年に引き続き県内他塾を圧倒する実績を残すことができました。トップ校合格者総数は1,150名となり、これは県下各塾中、第1位の実績です（2位は600人台）。

※ここでのトップ高校とは、神奈川県旧学区のそれぞれのトップ高校と小田原高校、神奈川総合高校、外語短大付属高校を加えた20校を指します。

こうした実績につきましては、今年4月、「Yomiuri Weekly」2005.4.17号にて、高校進学塾「合格力」ランク公立編・総スコア神奈川県第一位として報道されました。

① 独自入試実施の横浜翠嵐高校に60名合格

今年度入試の注目点は、高校が独自に作成した試験問題を出題する独自入試が可能となり、横浜翠嵐高校と平塚江南高校が英数国の3教科で、外語短大付属高校が英語で、独自入試を実施したことでした。

独自入試を実施した、湘南高校と並ぶ県立最高レベルの横浜翠嵐高校へは昨年度13名の合格から60名合格へと躍進し、また平塚江南高校でも昨年94名合格から114名合格へと合格実績を伸ばしています。

② 湘南高校合格者157名、今年も抜群の実績

県立最高レベルの湘南高校への合格者は、例年抜きん出た1位ですが、今年も定員の約5割157名の合格を出しました。

③ 厚木高校でも118名合格で圧倒的トップ

湘南高校・横浜翠嵐高校と並ぶ神奈川県下の名門校・厚木高校でも合格者が118名と、他塾を圧倒してNo.1を継続。また茅ヶ崎北陵高校でも125名の合格を出しました。さらに他のトップ高校、希望ヶ丘高校・平塚江南高校・相模大野高校・相模原高校・大和高校・秦野高校などでも各塾中トップを継続しています。

④ 横浜の名門・希望ヶ丘高や人気の神奈川総合高 ・外語短大付属高でもトップ

横浜の伝統校・希望ヶ丘高校でトップを続けるとともに、全県的人気の外語短大付属高校（横浜市）や、単位制高校として人気抜群の神奈川総合高校（横浜市）でも合格者数No.1となっております。

⑤ 横浜の柏陽高校でも、昨年15名から57名へと躍進

文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクールとして指定されている横浜の柏陽高校へも、昨年15名合格から大幅に躍進、今春は57名の合格を出しました。



県立湘南高校合格発表風景

⑥ 難関私立・国立受験でHi-STEPも健闘

超難関の東京学芸大学附属高校に18名が合格し（定員86名中の21%）、慶應義塾高校33名など慶應と早稲田の付属高校に合わせて67名合格、さらに桐蔭学園高校には232名が合格いたしました。

公立高校での躍進とともに、Hi-STEP各スクールを中心に最難関国私立で合格者を増やしています。



慶應義塾高校合格発表風景

今年のTOPICS

公立高校の新入試制度・独自入試に対応した体制づくり

2005年春の入試から神奈川県公立高校入試はかつてないほどの大きな変容を遂げました。県立高校の学区がなくなり、高校独自作成の入試問題の実施がはじまり、内申：入試の割合も一定の範囲内で各高校が選択可能となりました。また公立高校の統廃合も進み、単位制高校や総合高校などが続々と誕生しています。

この改革によって神奈川県の高校入試は学力重視の方向へドラスティックに変わってきています。ステップではこれに対応して、授業内容のさらなる高品質化を推進しながら、県内のドミナント・エリア内外への新規開校を進めてまいります。

小5生の講座を全スクールで開講

いわゆる「ゆとり教育」批判がメディア等でとりあげられ、その間、公教育批判による通塾率のアップが約2年間続いてまいりましたが、そのような「ゆとり教育」批判による「学習塾バブル」とでもいえる状況は終焉し、結果として学力強化に重点を置くご家庭と、絶対評価のもとで通塾時期を遅らせるご家庭との分化が進んでまいりました。こうした状況の中で、教育熱心なご家庭では、小学生の通塾時期の早期化が進行しております。ステップでも多くの保護者の方から「小5生の開講を」という声をいただいております。そこで今年度からステップの全スクールにおいて小5生の講座開講に踏み切り、大変好評をいただいております。

生徒の入退出をご家庭にメールでお知らせするSTEPパスを全スクールに設置

生徒の入退出をメールでご家庭にお知らせする「STEPパス」を中学部全スクールに設置いたしました。受信は携帯電話でもパソコンでもどちらでもOKとなっています。通塾の行き帰りを心配されていた保護者の方から大変好評です。また保護者の方向けのWEBサイトをご用意し、いつでもどこからでもその日のステップの登下校情報をご覧になれる他、台風などの災害時には「休講のお知らせ」等の臨時メールを一齐にご家庭に送ることも可能になりました。

個別指導専門校

freeSTEPの拡充をめざす

高校部では従来の通常のクラスとともに、いわゆる個別指導部門（freeSTEP部門）を2002年秋から立ち上げ、ノウハウを積み重ねてきましたが、2005年度からマンツーマンのシステムを中心に体制強化を図り、現役高校生だけでなく中学生にも対応しています。

新たにfreeSTEP平塚を大学受験平塚校から独立した独自校舎とし、さらにfreeSTEP長後を開校しました。これでfreeSTEPの独自校舎は3校となりました。



●ブルキナファソへ～「栄養失調児センター」への資金援助～●

ステップでは教師・スタッフをはじめ生徒たちの協力も得て、様々なボランティア活動に取り組んでいます。その一つがアフリカ・ブルキナファソの「栄養失調児センター」運営維持費の資金援助です。ステップでは1997年から、この活動を続けてまいりました。

ブルキナファソとはアフリカ内陸にある世界で最も貧しい国の一つで、近年はまったく雨の降らない年が続き、深刻な飢餓が一带をおそっています。「栄養失調児センター」では、経済事情により病院や健康センターなどの有料施設に行くことのできない人々を受け入れ、無料で治療を行いつつ、食料の自給自足を目指し、母子たちとともに耕作などの共同作業を行っています。

「ブルキナファソ栄養失調児センター」のホームページへ <<http://www9.ocn.ne.jp/~eika/>>

What's STEP

高校受験ステップ

—高校受験ステップ（中学部）—

1.専任教師制が主軸—充実した教師研修システム

非常勤講師を相当数採用している学習塾が多い中で、ステップは質の高い教師養成のために専任教師主軸という基調を貫いています。生徒をサポートするには質の高い授業が決め手だと考え、研修に力を入れ、教師同士で繰り返す模擬授業を中心に、技術と学力を磨き合い、高技術をもった専門職として育てています。例えば英語では、リスニング、会話などをネイティブのコーチのもと、レベル別研修が行われており、教師の実力向上を目指しています。

2.ハイタッチによる生徒指導

—1クラス定員 小学生16名 中学生20名

生徒全員の顔と名前が分かるように、1クラスの定員は小学生16名、中学生20名に。毎日生徒たちが「今日も来て良かった」と思えるように、授業内容、教材などの工夫を繰り返しています。質の高い授業こそ、子供の減少や競争に負けない最強の戦略と考え、スクールやクラスのマンモス化を避けつつ、神奈川県各地に教室の展開を進めています。



freeSTEP

—個別指導専門校 freeSTEP—

2002年秋に個別指導専門校「free STEP藤沢」を独自校舎として開校、今春には平塚と長後にも独自校舎を開校しました。また藤沢校・平塚校を除く高校部各校舎にも個別指導専門のfreeSTEPを設置しています。マンツーマンでの授業を基本とし、指定校推薦を目指す人、私立高校に通う人等々、生徒一人ひとりの異なったニーズに対応したカリキュラムで授業を進めております。さらに中学生対象のマンツーマンの講座も設置しています。

大学受験ステップ

—大学受験ステップ（高校部）—

1.双方向のコミュニケーション

大学受験ステップは、大手予備校タイプの大人数教室で教師が壇上に立って一方的に話す形の授業ではなく、双方向のコミュニケーションを大事にしています。だから、高校部は「生徒参加型の少人数制の授業」がモットーです。

2.ステップならではのシステム

オープンクラス（レベル別クラス）や高校別対応のクラス、さらには個別指導など、多様なクラス編成で現役高校生のニーズに添えています。高校別対応のクラスは数学などで各高校のカリキュラムに対応した授業を行います。また文系科目はレベル別のオープンクラスが基本です。さらに志望校別の超難関大学対応のスーパークラスなどを設置しています。ロスの少ない合理的なシステムで現役合格をバックアップします。



大学受験ステップ小田原校

本部—各スクール校舎

—ノーツ・ネットワーク・システムがフル稼働—

ステップの全スクールと本部各部署は、ノーツ・ネットワーク・システムで結ばれています。中学部・高校部とも毎日、各部署からの連絡、スクールや教師からの様々な情報等が、各スクールと本部、各スクール間でスムーズに行き来し、素早い対応が可能になっています。また、各教科のデータベースに、全ての教師がアクセスでき、その教科に関する意見や、質問、討議が可能です。

ノーツ・ネットワークの導入によるスピードアップがもっとも顕著なのが、講習時に毎日行う全教科のテスト集計と結果発表。各スクールで入力されたテストの点数がノーツを通してデータ管理室に集められ、本部コンピュータで、順位、偏差値などが出され、スクールに送信されます。そして、出力され、次の日には生徒一人ひとりに渡されます。つまり、毎日、約15,000人分のテスト結果と、それぞれのステップ内での順位が翌日には生徒個人の手が届くというスピードです。

STEP by STEP

ワクワク理科実験教室 湘南海岸に理科実験合宿施設 “湘南シーサイド・ラボ”

子供たちが理科実験を通して自然の不思議さに興味をもち、科学の楽しさを実感してくれたら、と湘南シーサイド・ラボを設置。充実した理科実験室を備えた生徒と教師のための宿泊できる研究・研修所として、96年春に開設しました。

理科実験室では、「ワクワク理科実験教室」や「ワクワク理科実験合宿」を開いています。2005年度には6回の理科実験教室、理科実験合宿を開講しました。6月には親子理科実験教室も開催し、親子ともども理科の面白さに触れる試みを行っています。



ワクワク天体観測

厚木西スクールに設置された天体望遠鏡は、コンピュータ・フル制御の最新鋭システムです。宇宙の不思議に興味シシンの生徒たちが、土星の輪や火星、星雲などを観望しています。親子での参加も歓迎しています。



スーパーサマーキャンプ

小・中学生を対象に毎年夏休みに行われるサマーキャンプ。2005年度は多摩川の源流・山梨県北都留郡の平山キャンプ場で3日間のキャンプを行いました。イベントは「きおび細工」や「そば打ち」、「川遊び」に「キャンプファイヤー」など。生徒たちは3日間を思い切り楽しみました。



ステップ・ミュージック・フェスティバル (SMF)

ステップ・ミュージック・フェスティバル (SMF) とは、音楽が大好きな生徒、教師が一体となって盛り上がる音楽祭のこと。ロックバンドやギターの弾き語り、ピアノ演奏、ブラスバンドのアンサンブルなど、演奏するジャンルは違っても「音楽が大好き」という気持ちは同じ。

毎年、生徒と教師と一緒に、熱気あるステージとなります。

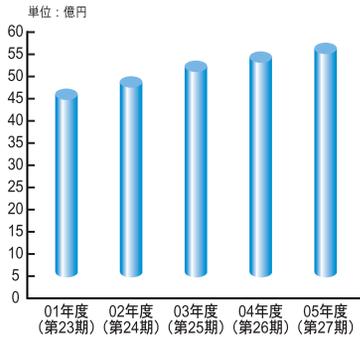


英語スピーチコンテスト

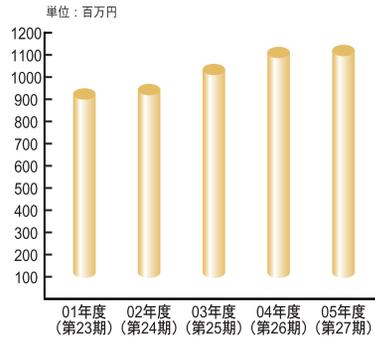
英語のコミュニケーション能力を高めてほしいと、92年から毎年、英語スピーチコンテストを開催しています。表情・ジェスチャーなどのパフォーマンスも加えて、自分を思いきり表現するステージ。各部門（中1・中2・中3・帰国生）で、金・銀・銅賞を競います。

業績の推移

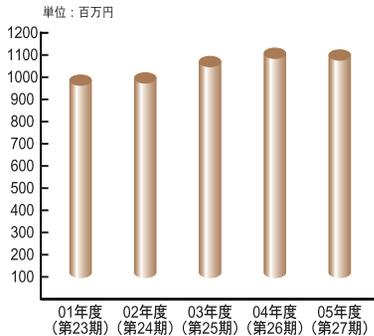
売上高



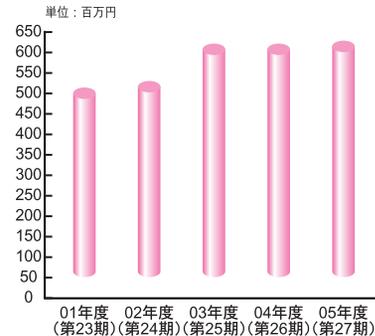
営業利益



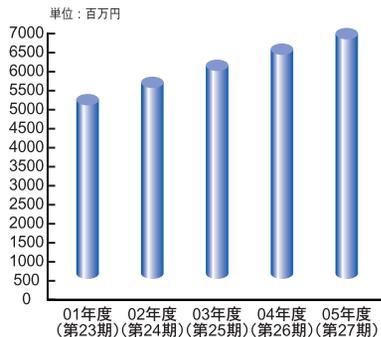
経常利益



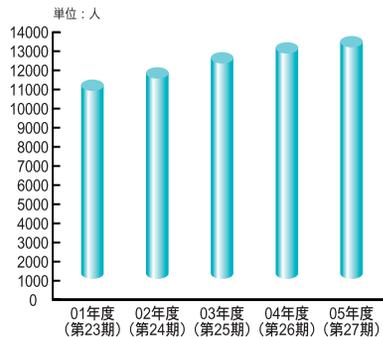
当期純利益



株主資本



生徒数



生徒数は、期中平均の在籍生徒数です。

損益計算書の要旨

当期業績の概要

今春の高校入試におきましては、県内公立トップ高校への合格人数をこれまで最高の1,150名とし、県内塾別合格実績No.1の座を堅持するとともに、当社生徒の県内公立高校合格者の41.2%がトップ高校に合格するなど、昨春に引き続き県内他塾を圧倒する実績を残すことができました。とりわけ、当社にとって巨大な潜在的マーケットと予想される横浜地区におきまして、伝統高校、人気高校での合格実績を大幅に伸ばせたこと、また自校作成入試問題導入校での入試結果をさらに上積みできたことは特筆すべきことと考えております。

当期の新規開校は、いずれも平成17年3月春期講習からスタートの小中学生部門3スクールと個別指導専門校の2校でした。来春以降も進展が予想される各高校別の入試制度・運営の変更(入試比率の拡大方向での見直し、自校作成入試問題の導入)に積極的に備える体制をさらに強化いたしております。現役高校生部門につきましては、昨年度開校準備室であった2校も今春より高校3年生の指導を開始し、本格稼働に入っております。結果、現状では小中学生部門が82スクール、現役高校生部門は9校、個別指導専門校は3校の計94校体制となっております。

昨秋以降今春までは全体的にほぼ横這いの推移が続いておりました生徒数ですが、4月の新学年スタート後は、ほぼ予想通りの展開となった新設の小学校5年生に加え、小学校6年生、中学校3年生をメインに順調な伸びを見せ、結果、小中学生部門、現役高校生部門ともに学年ごとの様相は異なりながらも、トータルで期中平均3.1%の増加となりました。

以上の結果、当期の売上高は5,635百万円(前年同期比4.1%増)、営業利益は1,114百万円(前年同期比0.6%増)、経常利益は1,085百万円(前年同期比2.0%減)、当期純利益は618百万円(前年同期比2.0%増)となりました。

なお、当社は経済産業省が後援し、社団法人全国学習塾協会が認定しております学習塾のサービス格付けにおきまして、全国トップレベルの評価で最高ランク(AAA)の格付けを取得して連続7年目に入っております。また、経済産業省の外郭団体であります財団法人日本情報処理開発協会と社団法人全国学習塾協会が認定するプライバシーマーク使用許諾も得ており、改正特定商取引法をはじめとする消費者保護関連法規に全面的に賛同し、その趣旨の実現に積極的に取り組んでおります。

当社は今後も全社的にコンプライアンス(法令遵守)体制の強化をはかってまいります。

なお、社会貢献活動におきましては、アフリカのブルキナファソの「栄養失調児センター」に対する資金援助が9年目に入っております。

損益計算書(単位:百万円)

*百万円未満切捨

科目	前期	当期	増減
売上高	5,414	5,635	221
売上原価	3,780	3,959	178
販売費及び一般管理費	525	561	36
営業利益	1,107	1,114	6
営業外収益	73	66	6
受取利息	1	1	0
受取賃貸料	56	55	1
その他	15	9	5
営業外費用	72	95	22
支払利息	17	18	0
賃貸費用	54	73	18
その他	0	3	3
経常利益	1,108	1,085	22
特別利益	-	-	-
特別損失	16	19	2
税引前当期純利益	1,091	1,065	25
法人税・住民税及び事業税	490	451	39
法人税等調整額	6	4	1
当期純利益	606	618	12
前期繰越利益	3,015	3,529	514
合併引継未処分利益	97	-	97
当期末処分利益	3,719	4,148	428

利益処分(単位:百万円)

配当金	190	193	3
次期繰越利益	3,529	3,954	424

部門別売上高

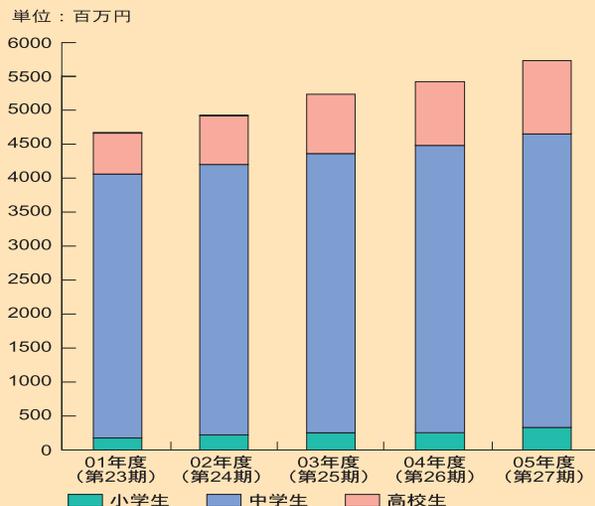
事業部門別の売上高は、次のとおりであります。

小中学生部門

小中学生部門は期中平均で3.1%の生徒数の増加により、4,624百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

現役高校生部門

現役高校生部門は期中平均で3.1%の生徒数の増加により、1,011百万円（前年同期比8.1%増）となりました。



部門別売上高明細表

(単位：千円)

区 分	期 別	前 期		当 期		比較増減 金 額
		売 上 高	構 成 比 (%)	売 上 高	構 成 比 (%)	
小 中 学 生 部 門	小 学 生	256,345	4.7	303,211	5.4	46,865
	中 学 生	4,222,313	78.0	4,321,054	76.7	98,740
	小 計	4,478,659	82.7	4,624,265	82.1	145,606
現役高校生部門		935,387	17.3	1,011,005	17.9	75,617
合 計		5,414,046	100.0	5,635,270	100.0	221,224

貸借対照表の要旨

貸借対照表 (単位：百万円)

* 百万円未満切捨

科目	前期	当期	増減	科目	前期	当期	増減
資産の部				負債の部			
流動資産	1,347	1,308	△38	流動負債	1,149	1,122	△27
現金預金	726	763	37	一年内返済予定長期借入金	620	548	△72
有価証券	422	324	△98	未払金	46	75	28
前払費用	76	80	3	未払法人税等	227	239	12
その他	122	140	18	その他	254	258	3
貸倒引当金	△0	△0	△0	固定負債	1,258	1,109	△149
固定資産	7,656	7,952	295	長期借入金	1,019	867	△151
有形固定資産	6,930	7,242	312	その他	239	241	2
建物・構築物	2,555	2,674	119	負債合計	2,407	2,231	△176
土地	4,320	4,320	—	資本の部			
その他	54	247	192	資本金	1,329	1,329	—
無形固定資産	40	37	△3	資本剰余金	1,402	1,402	—
投資その他の資産	685	672	△12	利益剰余金	3,954	4,383	428
投資有価証券	46	54	8	株式等評価差額金	△1	3	4
差入保証金	464	445	△19	自己株式	△87	△87	—
その他	174	172	△1	資本合計	6,596	7,029	433
資産合計	9,003	9,261	257	負債及び資本合計	9,003	9,261	257

株式の状況

株価推移 (週足)

資料: ジャスダック証券取引所



株式の状況 (平成17年9月30日現在)

発行済株式の総数 15,320,000株

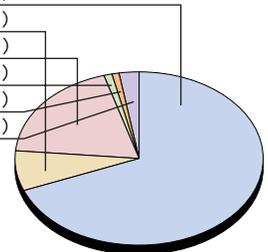
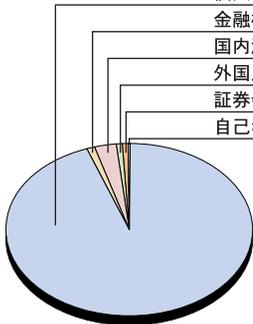
株主数 1,180名

所有者別株式分布

単位: 千株

個人・その他	1,127名	(95.51%)
金融機関	9名	(0.76%)
国内法人	27名	(2.29%)
外国人	6名	(0.51%)
証券会社	9名	(0.76%)
自己名儀株式	1名	(0.08%)

個人・その他	10,587	(69.10%)
金融機関	1,244	(8.12%)
国内法人	2,892	(18.88%)
外国人	99	(0.65%)
証券会社	97	(0.63%)
自己名儀株式	400	(2.61%)



第28期 業績予想

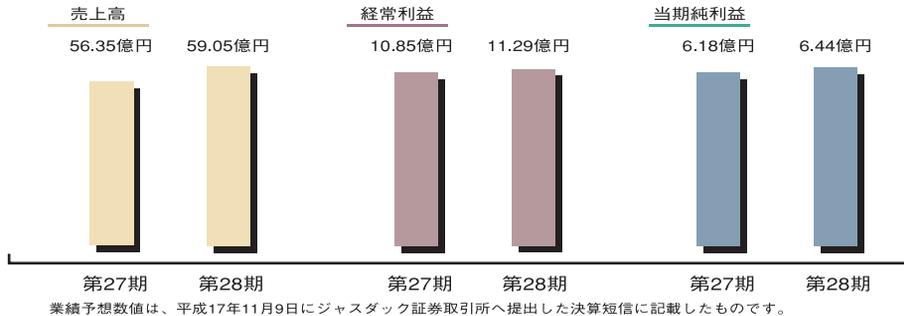
来期の見通し

経済・産業指標の数値やその分析、主だった見通し・将来展望等の中に一部明るさを感じられるようになってまいりました日本経済ではありますが、長期的な少子化の影響を免れえない学習塾業界は全体的に引き続き厳しい環境下にあると言わざるをえません。当期の募集状況を見る限り、小学生につきましては、同じ新指導要領、学校週5日制への不安感の高まりを背景としながらも、その動向は新しい局面に入ったように思われますが、この点予断を持たず油断せず、今後ともまだまだ開拓すべきニーズ、深耕すべきマーケットは確実に存在すると考え、業容の拡充に工夫をこらす所存です。

来期につきましては、今春実現した県立高校における独自入試の導入、入試比率の増大、学区の撤廃がさらに浸透する来春入試に向け、さらにそれが神奈川県内の公立高校ばかりではなく私立高校も含めた入試事情に与える影響を慎重に見据えながら、他塾に先駆けて備えに当たり今春結果を出すことのできた当社の教務力を十分に発揮して、より一層の合格実績の伸張、ブランド力の向上を図りたいと考えております。そのため、授業内容のさらなる高品質化とそのための人材育成を生命線として強力に推進する一方、営業基盤の地域的強化をめざし、教務上の優位性を有効に活かすことを主眼に神奈川県内のドミナント・エリア内外への新規開校を検討いたしております。

着実な成長を続ける現役高校生部門ですが、今後ともこの堅調を維持するとともに小中学生部門同様の授業内容の高品質化とそのための人材育成をより一層組織的・継続的に推し進めるため、資金と人材を合理的に投入して教務力向上に邁進し、競争力の強化に努めます。

通期の業績につきましては、売上高5,905百万円(前年同期比4.8%増)、経常利益1,129百万円(前年同期比4.0%増)、当期純利益644百万円(前年同期比4.1%増)を見込んでおります。



当社の経営の基本方針

学習塾を広義での「子供応援産業」と考えております当社は「子供を元気にする塾」をコンセプトに、「楽しく、かつ力がつく」授業展開をモットーとし、生徒たちの健全な成長を学力面で応援してまいりたいと考えております。

これを実現するために、以下の5項目を経営の基本方針としております。

- (1) 学習塾専業への経営資源の集中投下
- (2) 地元神奈川県内へのスクールの集中展開
- (3) 基本となる学習サービス内容の高品質化と競争力強化
- (4) 公立トップ高校への合格実績No.1を一層拡大発展させる高校受験STEPのトップ作戦の推進
- (5) 地元現役高校生を対象とした大学受験STEPの拡充

小中学生部門におきましては、当社はもともと公立高校の基盤が比較的強固な地域を中心にドミナント展開を行ってきた強みとその公立高校の変革、入試改革による魅力向上を追い風として積極的に生かし、実績に裏付けられた強力なブランド化戦略をメインに据えた市場戦略を展開いたしております。

現役高校生部門は、学習塾の市場の中では未だ充分に開拓されているとは言い難く、今後の伸長が見込まれる分野であります。当社は、県内県立高校旧学区割りを目処に中規模程度の校舎を展開し、現役高校生対象の予備校ネットワークの構築を計画的に進めております。今後とも小中学生部門と並ぶ経営の柱として発展を図ってまいりたいと考えております。

会社の概要

商号 株式会社ステップ
証券コード 9795
本部 〒252-0804 藤沢市湘南台2-1-19
TEL 0466-45-5500 (代)
事業内容 ■高校受験STEP
小5から中3までの学習・受験指導
■大学受験STEP
高1から高3までの現役高校生対象の大学受験指導
スクール 神奈川県内
藤沢市、横浜市、鎌倉市、茅ヶ崎市、平塚市、
大和市、厚木市、海老名市、座間市、相模原市、
伊勢原市、秦野市、小田原市、南足柄市、逗子市
寒川町、松田町、二宮町、大磯町、愛川町に94校舎
(平成17年10月現在)
教材研究部 藤沢市南藤沢22-101
印刷配送センター 藤沢市大庭5681-24

COMPANY DATA

創業 昭和50年1月
設立 昭和54年9月
資本金 13億2905万円
代表取締役社長 龍井郷二
社員数 593名(正社員422名、その他171名)
営業地域 神奈川県内

株主メモ

決算期 9月30日
定時株主総会 12月
利益配当金 9月30日
支払株主確定日 1,000株

名義書換代理人 中央三井信託銀行株式会社
東京都港区芝三丁目33番1号
同事務取扱所 中央三井信託銀行株式会社 本店
東京都港区芝三丁目33番1号
〒105-8574 電話03-5232-8618(代表)
同取次所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本店・全国各支店
公告の方法 当社ホームページに掲載します。
<http://www.stepv.co.jp>
ただし、電子公告によることができない事
故その他やむを得ない事由が生じた時は、
日本経済新聞に掲載して行います。

住所変更、名義書換請求及び配当金振込指定に必要な各用紙ご請求は、
名義書換代理人のフリーダイヤル0120-87-2031で24時間受付しております。

平成16年9月30日を株式分割基準日として、平成16年11月19日付をもって1株につき4株の割合で株式分割を行いました。なお、この株式の分割に際しては、資本金の増加はありません。

